

新潟空港が、照明器具のLED化による省エネ効率の改善と、エントランスロビーのイメージアップを目的として、照明改修工事を実施。主照明に昼白色のLED一体形ダウンライトを、間接照明に電球色のLED小形角形投光器を採用した快適な光環境のロビーが、国内外の利用者を温かく迎えています。

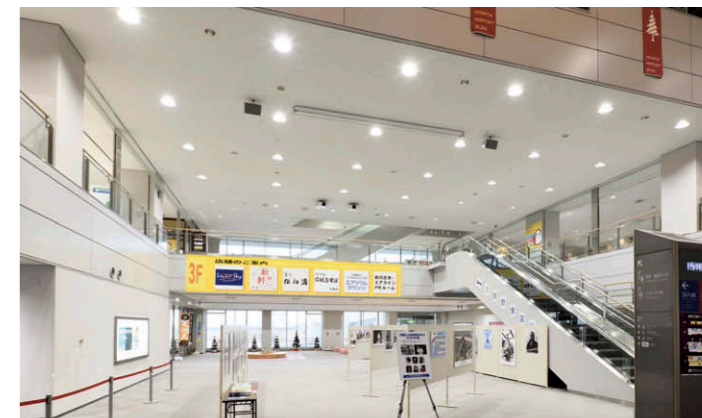
1930年、日本海に面した阿賀野川の河口部に新潟市営飛行場として開場して以来、本州日本海側の拠点空港として発展を続けている新潟空港。現在は2本の滑走路を有し、国内線8路線、国際線6路線が就航しています。ターミナルビルは、1996年に完成した3代目となる建物で、中央に位置するセンタープラザを挟むようにして、西側に国内線チェックインロビー、東側に国際線チェックインロビーが広がり、年間約100万人(2016年4月1日～2017年3月31日)の利用客が訪れています。



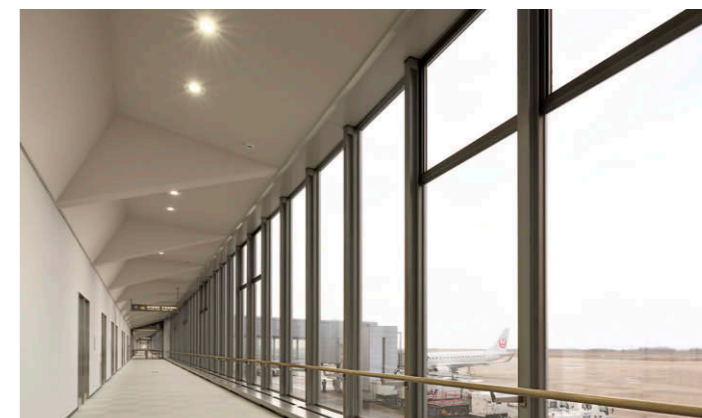
【物件概要】
所在地：新潟県新潟市東区松浜町 3710
延床面積：28,805㎡
規模：地上4階・地下2階建
施主：新潟空港ビルディング㈱
竣工（第1期工事）：2017年3月



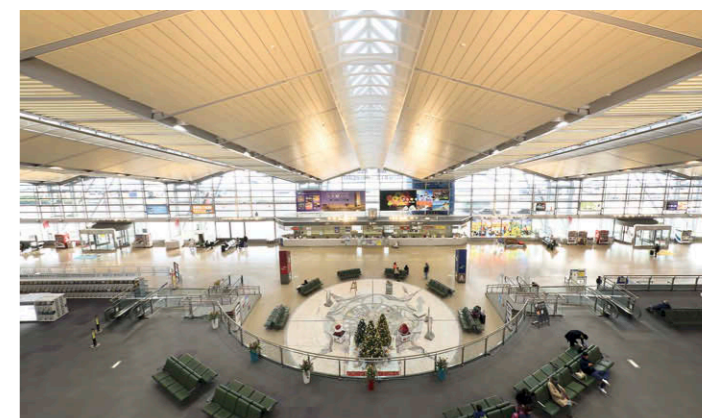
ロビー中央 LED一体形ダウンライト①の昼白色の光が降り注ぎ、LED小形角形投光器②③④の電球色の光が天井を照らす大空間



2階出発ロビー 1階の中央に位置するセンタープラザ天井部分をはじめ、出発ロビー、コンコースなどにはLED一体形ダウンライト⑤を配置



コンコース LEDライトエンジンダウンライト⑥を配置し、長い距離を歩く利用者にリズムカルな陰影を提供



4階から望むロビー中央部 案内カウンターの屋根部分や窓枠付近など、空港利用者から見えない場所にLED小形角形投光器②③④を配置し、間接照明として天井を照射

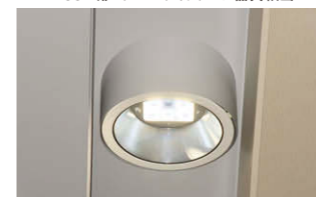
昼白色の主照明と、温かみのある電球色の間接照明により、大空間に快適な光空間を創出。

新潟空港のエントランスロビーは、間口約190m、天井高は最高4階まで達する大空間を有しています。そのため、今回の照明改修工事では、ロビーについては第1期工事とし、最も利用客が集中するセンタープラザ付近の照明環境に絞ってリニューアルを実施しています。

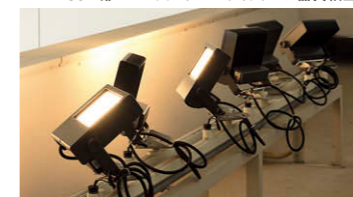
主照明には、軽量で高効率な400W形金属ハイドランプ器具相当のLED一体形ダウンライトを採用し、天井の既設照明跡に24台を設置。将来的には全77台を納入予定です。さらに間接照明として、8,000lmク

ラスのLED小形角形投光器を、1階から4階までの、器具が利用客の視界に入らない様々な場所に配置。天井に映る光の強弱を計算しながら、広角、中角、狭角の3タイプを使い分け、それぞれ52台を適切な配光に設置することで、空間を電球色の温かな光で包み込んでいます。高い天井から降り注ぐような昼白色の主照明の光との組み合わせにより、チケットや書類などの視認性と、リラックスできる雰囲気を両立。多くの人が行き交う空港ロビーの大空間に、快適な光環境を提供しています。

① LED一体形ダウンライト 一般形 高天井用 400W形金属ハイドランプ器具相当



② LED小形角形投光器 150W形コンパクト金属ハイドランプ器具相当



⑤ LED一体形ダウンライト 一般形 高天井用 250W形金属ハイドランプ器具相当



主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
ロビー主照明	LED一体形ダウンライト 一般形 高天井用 400W形金属ハイドランプ器具相当	① LEDD-20047N-LD9	77 (取材時 24)	消費電力：138W
ロビー間接照明	LED小形角形投光器(広角タイプ)	② LEDS-08907LW-LS9	14	消費電力：60.0W
	LED小形角形投光器(中角タイプ)	③ LEDS-08907LM-LS9	77	消費電力：60.0W
	LED小形角形投光器(狭角タイプ)	④ LEDS-08907LN-LS9	61	消費電力：60.0W
出発ロビー、他	LED一体形ダウンライト 一般形 高天井用 250W形金属ハイドランプ器具相当	⑤ LEDD-10035N-LD9	44	消費電力：107W
コンコース	電源別置LEDライトエンジンダウンライト	⑥ LEDD-17011-LD9	100	ランプ：LERI20/45W-H54GH40 消費電力：45.1W